

科目名 Course Name	FP 演習Ⅳ FP Exercise IV				ナンバリング No.	C4-005	
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	水谷 恒夫						
連絡方法	C-Learning で対応。非常勤講師室。						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と到達目標	個人の家庭のライフプランをベースに、貯蓄や投資、保険、年金、不動産、税金、相続などを包括的にアドバイスする専門家＝ファイナンシャルプランナーの育成を目指す。専門家として必須の国家資格である FP 技能士 2 級検定試験の合格を目指す。						
授業の方法	講義形式で行う。問題演習が中心となる。問題集や過去問を使用するが、テキストで照らし合わせを行うので、同時にテキストも持参すること。						
学習成果	L01	ライフプランニングと資金計画、リスク管理と保険、金融資産運用に関する基本的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L02	ライフプランニングと資金計画、リスク管理と保険、金融資産運用に関する専門的な知識を習得し、アドバイスや計画を立てることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	問題演習は模範解答を示し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	① これだけ覚える FP 技能士2級・AFP 一問一答＋要点整理 '24→'25 年版 株式会社マネースマート著（成美堂出版） ② FP 技能士 2 級・AFP 最速合格ブック '24→'25 年版 株式会社マネースマート著（成美堂出版）						
履修上の留意点やルール等	C-Learning で出席入力を行いますので、遅刻しないように教室に集まること。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。 板書を記入するノートと電卓(12 桁推奨)を用意すること。C-Learning による小テストには提出期限を設ける。期限後提出は採点しない。授業中スマートフォン等は使用しないこと。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:FP 事務所経営 職歴:2009 年～現在に至る)						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	板書をノートに記入し、スマートフォン等は使用しないこと。				
レポート/作品					
発表					
小テスト	第 10 回目をめどに小テストを行う。評価割合は 40%とする。	20	20		
試験	定期試験の評価割合は 60%とする。	30	30		
その他					
合 計		50	50		

回数		授業計画
1	授業内容	タックスプランニング(1):所得税の基礎、事業所得他
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
2	授業内容	タックスプランニング(2):譲渡所得他、損益通算、所得控除
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
3	授業内容	タックスプランニング(3):所得税の計算
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
4	授業内容	タックスプランニング(4):所得控除、税額控除、法人税
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
5	授業内容	タックスプランニング(5):消費税、まとめ
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
6	授業内容	不動産運用設計(1):不動産登記制度他
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
7	授業内容	不動産運用設計(2):借地借家法他
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
8	授業内容	不動産運用設計(3):住宅ローン減税他
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
9	授業内容	不動産運用設計(4):不動産の税金
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
10	授業内容	不動産運用設計(5):不動産の有効活用、まとめ
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
11	授業内容	相続・事業承継(1):贈与税
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
12	授業内容	相続・事業承継(2):法定相続人他
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
13	授業内容	相続・事業承継(3):相続税の計算他
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
14	授業内容	相続・事業承継(4):相続財産の評価他
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認
15	授業内容	相続・事業承継(5):事業設計、まとめ
	事前・事後学習	該当箇所をテキストで確認